

## 2019年度第1Q定期試験・補講日程表

※期間中は教室が通常の教室とは異なる場合があります。以下の表で実施教室を必ず確認してください。

## 工学研究科

2019年05月24日掲載 工学研究科学務課教務学生係

時間割所属	実施形態	実施日	実施 時限	開講授業科目名称	時間割コード	主担当教員	試験・授業教室	定期試験時 筆記用具以外の持 込許可物の有無	左記の具体的な携行可能品	備考
博士前期 建築学専攻	試験	6月4日	1	避難計画特論A	1T404	北後 明彦	LR204	持込不可		
	補講	6月6日	2	建築構造システム論1	1T408	谷 明勲	LR303			
工学 博士前期 市民工学専攻	補講	5月31日	3	都市地域経済学	1T453	織田澤 利守	C2-101			
	補講	5月31日	4	都市地域経済学	1T453	織田澤 利守	C2-101			
	試験	6月5日	1	岩盤工学特論	1T451	芥川 真一	LR304	持込不可		
	試験	6月5日	2	岩盤工学特論	1T451	芥川 真一	LR304	持込不可		
工学 博士前期 電気電子工学専攻	補講	6月4日	2	機械学習論Ⅱ	1T512	大森 敏明	LR302			
	試験	6月5日	2	量子物性工学特論	1T501	相馬 聡文	LR404	可	授業で配布予定の指定書き込み用紙1枚のみ 持込可	
	試験	6月5日	4	光電磁波論特論	1T502	森脇 和幸	C4-301	可	配付資料、ノート、教科書	
	試験	6月6日	1	電力工学特論A	1T505	竹野 裕正	LR304	可	授業で指示	
	補講	6月6日	2	機械学習論Ⅱ	1T512	大森 敏明	LR302			
	試験	6月6日	3	集積回路設計工学特論A	1T506	沼 昌宏	C2-301	可	A4自筆メモ1枚(コピー不可)	
工学 博士前期 機械工学専攻	試験	6月4日	1	人工システム開発論Ⅰ	1T561	妻屋 彰	LR202	可	講義資料、自筆ノート、関数電卓	
	試験	6月5日	2	破壊力学Ⅰ	1T552	中井 善一	LR204	可	自筆ノート、電卓、教科書、配布資料	
	補講	6月5日	5	先端ロボット技術論Ⅰ	1T562	蓮沼 仁志	5W-301			補講時間内に課題 発表を行う
工学 博士前期 応用化学専攻	試験	6月4日	1	応用物理化学1/計算材料学1	1T601/1X302	石田 謙司	LR402	可	関数電卓(スマホ不可)	レポート提出
	試験	6月4日	2	反応工学特論1	1T607	西山 覚	C2-101	可	関数電卓(通信機能無のもの) 自筆ノート	
	試験	6月4日	4	多相系移動現象論1	1T608	鈴木 洋	C1-201	可	電卓	
	補講	6月6日	1	無機物性論	1T602	水畑 穰	LR404			
	補講	6月6日	2	無機物性論	1T602	水畑 穰	LR404			
	補講	6月6日	3	有機合成論	1T604	岡田 悦治	LR202			
補講	6月6日	4	有機合成論	1T604	岡田 悦治	LR202				

## 2019年度第1Q定期試験・補講日程表

※期間中は教室が通常の教室とは異なる場合があります。以下の表で実施教室を必ず確認してください。

## システム情報学研究科

2019年05月24日掲載 工学研究科学務課教務学生係

時間割所属	実施形態	実施日	実施 時限	開講授業科目名称	時間割コード	主担当教員	試験・授業教室	定期試験時 筆記用具以外の持 込許可物の有無	左記の具体的な携行可能品	備考
システム 博士前期	補講	6月3日	2	データマイニング論	1X005	上原 邦昭	LR303			
システム 博士前期	補講	6月4日	3	情報可視化論	1X006	坂本 尚久	情報基盤センター			
システム 博士前期	補講	6月5日	3	情報可視化論	1X006	坂本 尚久	情報基盤センター			
システム 博士前期 計算科学専攻	補講	5月31日	1	計算流体力学	1X301	坪倉 誠	LR203			
システム 博士前期 計算科学専攻	補講	6月3日	3	計算流体力学	1X301	坪倉 誠	LR203			

## 試験に関する注意事項

1. 受験の際、学生証を必ず携帯すること。
2. 試験室にて不正行為のあるときは、直ちに厳重なる処罰をする。  
#学生便覧を参照のこと
3. 試験開始後20分間は、受験者の退室を認めない。
4. 試験開始後20分を経過した後は、受験者の入室を許さない。
5. 答案用紙は、答案の成否に拘らず各枚毎に必ず学籍番号・氏名を記入して提出すること。
6. 答案用紙に他事記載を禁ずる。もしこれを記載したときは不利益を受けることがある。
7. 試験に不必要なものは、一切かばん類の中へしまいか又は所定の場所へ置くこと。
8. 不正行為と誤解を受けるような物が机の中にある場合あるいは机上及び周辺の壁に落書きがある場合は、試験監督教員に届け出ること。
9. 一旦退室した者は、いかなる理由によっても受験者全員の答案回収が済むまで再入室を許さない。
10. 携帯電話等の通信機器を時計もしくは電卓の代わりに使用することは一切認めないので、必ず電源を切った上でかばん等の中へしまっておくこと。  
試験中、これらの機器に触れている場合、ポケット等に入れている場合、もしくは机の上あるいは中に置いている場合、不正行為とみなす。  
(なお、試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出すことがある。)
11. 警報等の発令により試験が実施されなかった場合、代替日はその都度掲示する。

工 学 部  
工 学 研 究 科  
システム情報学研究科